

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
ProTools 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	吉田 光宏・柴徳昭			実務 経験	有	職種	ミュージッククリエイター/AVID認定ト レーナー				
授業概要											
<p>ProToolソフトウェアの基本的な操作と、概念をマスターし、音楽関連の現場でエンジニアとして働く者として常識となる技術を習得する。音楽録音は磁気テープ録音の始まりからマルチトラックレコーディングへと進化しライブでは実現不可能なサウンドも形成できるようになった。ProToolsを通じてレコーディングエンジニア、MAエンジニア、ラジオスタッフのあらゆる場面で活躍できることを目的とする。</p>											
到達目標											
<p>Pro Tools の設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格である、Avid ProTools110の取得を必須とする(このためには101を先に取得している必要がある)。この資格は世界中のプロダクション等にPRできる強みがあり、Pro Toolsの高い専門性を生かし、音楽、映像、放送など幅広い録音現場におけるエンジニアとして活躍できる機会を増やすためにも取得を目標とする。</p>											
授業方法											
<p>Avid認定のProTools110テキストを使用する。こちらにはProTools全般の操作と様々な用語が解説されている。一見、難解な専門用語も多くあるため、経験ある講師によって具体的な操作を用いながら解説される。講義教室での解説にはProToolsの画面を表示しながら、実際に現場で使われた音素材を参考にどのように変化していくか、聞きながら学ぶ。</p>											
成績評価方法											
レポート提出・課題提出・平常点											
履修上の注意											
<p>この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。</p>											
教科書教材											
Avid認定のProTools110テキスト											
回数	授業計画										
第1回	MIDIについて										
第2回	MIDIについて2										
第3回	X-Pand2ー 2										

第4回	リアルタイムプロパティ 2
第5回	エラスティックオーディオ機能1 実践
第6回	エラスティックオーディオ機能3 実践
第7回	オートメーション機能 2
第8回	バスの使い方 2
第9回	ProTool s 機能のまとめ
第10回	バーチャル・インストゥルメント
第11回	バーチャル・インストゥルメント2
第12回	MIDIのレコーディング2
第13回	クリップグループとクリップループ2
第14回	エラスティックオーディオ機能2 実践
第15回	フェードの適用 2

第16回	エフェクターの処理 2
第17回	プロツールの様々な設定 実践
第18回	X-Pand2
第19回	MIDIのレコーディング
第20回	リアルタイムプロパティ
第21回	クリップグループとクリップループ
第22回	エラスティックオーディオ機能1
第23回	エラスティックオーディオ機能2
第24回	エラスティックオーディオ機能3
第25回	フェードの適用
第26回	オートメーション機能
第27回	エフェクターの処理

2020年度 日本工学院八王子専門学校

音響芸術科

ProTools 2

第28回

バスの使い方

第29回

プロツールの様々な設定

第30回

ProTools 110試験について